

(様式 1-3)

福島県 (田村市) 再生加速化事業計画 再生加速化事業等個票

平成 26 年 4 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	1	事業名	田村東産業団地整備事業	事業番号	(6)-34-1
交付団体	田村市	事業実施主体 (直接/間接)	田村市 (直接)		
総交付対象事業費	987,022 (千円)	全体事業費	2,955,600 (千円)		
再生加速化に関する目標					
市内工業団地は、分譲率 100%となっていることから、工業団地の整備を推進することで進出企業の早期操業の促進と安定的雇用の確保に努める。					
事業概要					
原発事故及び風評被害による県内外への自社工場すべて移転、一部移転等移転操業を余儀なくされている事業所が大震災以前の状態に早く戻れるように環境整備を急ぐとともに、地域産業団地整備の促進による受け入れ態勢の強化を図り、商工業の安定化に向けた官民一体の活動を推進することにより、企業の帰還、新規立地を加速させ、さらに安定的雇用の確保に努める。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
<平成 26 年度> 用地買収費、測量・設計費、調査費・広報活動費 987,022 千円 <平成 27・28 年度> 造成工事、調査費・広報活動費 983,796 千円 <平成 28・29 年度> 造成工事、調査費・広報活動費 984,782 千円 ※平成 27 年度～29 年度造成工事は、工事の半分程度終了した後、即企業の立地に取り組み、残りの造成工事については、当初工事終了により進めている企業立地と平行して工事を進めていく計画としたい。					
地域の再生加速化との関係					
田村市の避難者は、主に市内に避難しており、4 月 1 日避難指示の解除がなされたが多くの方が未だに自主避難している状況である。市内撤退工場跡地利用整備事業は、面積が約 15ha と工業団地としては十分の広さがあり、立地条件についても現在磐越自動車道船引三春 IC と小野 IC のほぼ中央にスマート IC を計画中でありスマート IC から約 10 分という好条件であることと旧避難地域からも県道 381 号・112 号を通行することで約 20 分程度の通勤圏内となっており、さらに、事業用地の照会もあり、避難地域以外ではあるが、企業誘致の促進をはじめ避難地域からの雇用創出も図ることができ若者の定住化にもつながることから地域産業団地整備が急務である。また、パンフレット作成による広報活動、ホームページの活用による情報の発信などを積極的に行い企業誘致に努める。					
関連する事業の概要					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	